

菅の新自由主義路線と対決し、 民主主義的社會主義に進もう！

11・21 (土) MDS 集会

民主主義的社會主義運動・Movement for Democratic Socialism



↑ 学術会議任命拒否に、全国で、抗議行動が広がる



菅政権の別働隊・維新による「都構想」に抗議する

● 11月21日(土) 14:00~16:30
● 寝屋川市民会館第1会議室
(寝屋川市駅下車 東 12分)【資料代 500円】

* * マスクの着用・手指消毒にご協力ください * *

＜集会プログラム＞

● 【第1部】(14:00~15:30)

▶ あいさつ

▶ 基調講演

『菅の新自由主義路線と対決し、民主主義的社會主義に進もう！』【大西裕三郎MDS河内地区委員長】

▶ 特別講演

『企業利益優先の検査体制・ワクチン・治療薬ではなく、科学的コロナ対策を！』【医療問題研究会医師】

● 【第2部】(15:40~16:30)

▶ MDSからの訴え

▶ グループ討議

“恐怖政治で支配しようとする菅政権にどう立ち向かうのか” …一緒に考え、行動しましょう

▶ 週刊MDS購読のお願い

- 菅政権は、就任早々日本学術会議会員候補 6 人の任命を、理由にならない理由で拒否するという、あってはならないことを強行しました。憲法 23 条「学問の自由はこれを保障する」違反です。安倍政権が集団的自衛権行使容認を行ったと同様に、憲法を平然と踏みにじています。
- 菅政権は「私が目指す社会像、それは『自助・共助・公助』、そして『絆』だ」と言っています。この意味するところは、政府は市民の生活を支えないと、いうことです。コロナ危機で生活不安にさらされている市民に対し、自分で解決しろと言っているのです。この菅政権のブレーンが竹中平蔵パソナ会長です。竹中は派遣を大幅に増やす方針を小泉政権の時に作り、その受け皿としてパソナを儲けさせ、現在も儲けさせ続けています。
また菅政権は施政方針演説で、原発・辺野古新基地建設を推進すると述べました。
- 11/1 (日) 大阪市廃止の是非を問う大阪市住民投票では、「反対」が「賛成」を上回り、再び否決されました。市民の生活と命よりもグローバル企業・カジノを優先する維新の暴走にストップがかかったのです。その維新とつながっているのが菅首相です。
- 今回開催する MDS 集会では、この菅政権の政策を検討していきます。菅政権が新自由主義政策を徹底して進めること、そのための手段として官僚に対する人事権を行使すること、マスメディア支配を徹底しようとすることを明らかにしていきます。
- 対案は、民主主義的社會主義であること、その展望を基調講演で打ち出します。また医療講演では、コロナ対策の具体的検討と今後の方針について、医療問題研究会医師から詳しい報告を受けます。みなさん、ぜひご参加ください。

★主催：MDS(民主主義的社會主義運動)河内地区委員会★ <http://www.mdsweb.jp/>
連絡先 〒572-0837 寝屋川市早子町 20-13 090-3927-6382